

精華人 SEIKAJIN

2002
March

Kyoto Seika University
Alumni Association KINOKAI
SEIKAJIN

10

京都精華大学同窓会 木野会
京都市左京区岩倉木野町137 〒606-8588
T.075-702-5201 F.075-721-9019

特集 親子で精華人

東京支部同窓会報 江戸の瓦版
西日本支部同窓会報 KINO WEST
しが支部だより・東海地区情報
韓国・台湾情報



精家族

from KINOKAI
数珠つなぎ—第8回
INFORMATION



親×子



で精華人

京都精華大学は、卒業生を社会に送り出して30数年が経ち、昨今それぞれの子供達が

精華にやって来ているのを見ました。そして、今回は親として大学と関わって欲しいと、

子供として親から聞いた精華と関わって欲しいとを、それぞれ伺いました。

親 PARENTS

高い授業料やもんね

司会●子供さんが大学に入られてから、大学に対して何か感じたり、また聞かれたことありますか。

杉浦氏●教育講演会についての役員やりますと、いろんな親御さんと会う機会が多いんですよ。皆さん、精華に入ったおかげで変わったっていうことを言われる方が多いですね。

司会●子供さん自身がですか。

杉浦氏●ええ、積極的に自分で動くようになつたとか言う方が多いですね。

立岡氏●ちょっと特徴のある子もいれば学力もそこそこのもいる、ミックスしたようなのでやっついへむけでしよう。

司会●いろんなことがミックスになつてね。それがまた楽しい。おもしろ味がでる、積極的になるもとのかも知れないですね。

吉田氏●その個性とはまたちょっと違うのかも知れないけど、うちには子供が2人いて、下はよその大学に行つたんですけど、

大学祭は精華のほうがおもしろいって言うんですよ。自分が行っている大学の大学祭は全然おもしろくないっていうんですよ。

立岡氏●私、東京の音大に行っている友達の子供からも、京都の精華の大学祭にわざわざ行つたらおもしろかつたって、また行きたいって。

司会●居心地がいいんでしょうか。

杉浦氏●居心地がいい。精華大学は、何だっけな。予習をする必要がないっていう

(笑)授業に対して。

岸氏●それも問題ありやな。(一同笑)

立岡氏●この間うちの子が「勉強しなくて

もOKみたいなのがあったよ」みたいな。

吉田氏●大体は入りやすく出ていく大学

っていうふうになつてたんじゃないか。

杉浦氏●いや、出られないほうが多いですよ。ごまかすって、やはり(笑)留年とか。

司会●それ何でなやう。その先生の授業がおもしろくないの。

岸氏●結局さぼるんですよ。おもしろくないとかそんなことではなく、さぼり癖です。朝の授業なんて皆そんなのみたくです。ほとんど行っていないものね。僕らの時代もそうでしたけどね。「お前は夜学に行

ってるのか」って、俺は親父に言われまして。(一同笑)だからうちの娘なんかには、絶対たくさん単位とってほしいと言つたら、3年生になったのに朝の8時から行つてるわ(笑)。

吉田氏●えらいわね。

司会●せっかくの授業料やもんね。

吉田氏●それは言えてるね。

岸氏●でも、そんなこと言つのはやはり50

近くになったら、皆言つたよ。(一同笑)

司会●その高い授業料について何か。

杉浦氏●うちは夫婦で精華やから値引きさせて言つたら、3代目からやって言われ

てね。笑つてましたけどね。

司会●でもこれは是非要望したいですよ。

岸氏●もう遅いわ。二年分払つてもうた(笑)。

吉田氏●うち卒業してしまつてますから(笑)もつと遅すぎます。

岸氏●バックペイしてくれるとか。

ろいろと話出てくるんですけどね。

岸氏●よその学校の卒業生じゃなくて、ちゃんとまじめにやっている人もいるんやから。そういうなんでもできるだけスタッフに入れてね。大学に対する思い入れっていうのは、ます違うんやうしね。だからやはり卒業生を少しでも多く。

立岡氏●私学っていうのは、やはりそういうカラーがあるもんね。

吉田氏●でもその若返るっていうのも大事なんですけど、学校へ来た時に習つた先生が誰もいらついたらないっていうのも、寂しいもんあるんですよ。意外とね。

立岡氏●みんなは他の同窓生と違って、今日の精華大学をよくご覧になつていてと思うんですが。

同窓生として、保護者として協力や参加できることはないですか。

立岡氏●京都精華大学って今実際に図書館とかアッセンブリー等も含めて、外に対してオープンな姿勢は貫き続けているんですよ。だから、そういうものをこれから一個人として、何か使えるようなことがあつたらど

んどん使っていきたいなって、そういう機会がほしいなっていう思いはありますね。

杉浦氏●そうですね、近かつたらっていうのがありますね。岡山や愛知じゃね。

立岡氏●アッセンブリーとか、それから今のガーデンなんかに、参加してみたいな

って思う。

吉田氏●私は京都市内に住んでるんで、現在もガーデンの中の講座を受けています。行つたついでに情報館も行って図書館も見れば、コンピュータもちょっといじつてくるとか、自由に、で、学食にも行って食入

てくるとか(笑)い、もうすべて、自分の庭ではないんですけど。

岸氏●学費を物価スライド制にせよ、言う

井上氏●授業料のあれ見たら、物価スライド制が何か書いてませんでした。

吉田氏●じゃあ、下がらないかんですかね。

井上氏●2、3万下がってほしいんじやないかと思つたんですけど(笑)。

岸氏●学費を物価スライド制にせよ、言う



井上美津子(吉田) 76D



岸 泰夫 70D



杉浦章介 73S



立岡洋子 72E



吉田真弓(三ツ柳) 72T



司会：黒田妙子(塩見) 68E

岸氏●そのカーテンっていうの何？
杉浦氏●公開講座です。一般に対して。だから井筒監督の、あれ大林監督だったかな。「僕の映画学校」というタイトルで、何日間かやってたり。

それから登り窯で焼く陶芸とか、だれでも参加できるんですよ。
岸氏●ああ、そうなん。

吉田氏●陶芸は高かったですね。私は版画を受講してんですけど、10回で1万円くらいですかね。だから格安ですよ。

岸氏●ああ、そういうのあるんや。

杉浦氏●登り窯で焼き物を焼くっていうのは、5万円は格安だった。

吉田氏●ああ、そう？。そういうの知らないから。

杉浦氏●そうなんです。登り窯なんていうのは大体素人さんは体験できないし、やっている人でも、ガス窯が電気窯でしょう。フコでさえ登り窯はね。ああいう火で焼くのを体験できるとは思わなかったって、皆なんか感激されて帰っていきましてよ。

岸氏●それ一回やってみよう。

立岡氏●それが他の大学なんかでよくやっているのは、講義室に人を集めて著名な先生が講演をする、そんなのはどこでもあるけれど、精華の場合は、ワークショップで体を動かす、ボディランゲージがある。もうとにかく表現、表現するっていうことを年に関係なく興味をもったものに勉強ができる、参加できるって、それはやはり魅力だと思っ。

吉田氏●なおかつ自分が学生時代を過ごした場所であるがゆえに、非常に行きやすいんですよ。校内歩いてても何しても、懐かしさもあるけれども、非常に全然違和感なく溶け込めるっていうか、社会人入学の方とか、我々よりもちよつと上の方とかも入って見えたりもしますが、別に自然な感じで接することもできてよかったなと思っんです。

保護者のOB会って!?

杉浦氏●春に岩倉散策っていうのを(笑)教育後援会の企画でやったんですよ。

吉田氏●そうです(笑)、あれすごい主人喜んで。主人と私と2人で出て。

杉浦氏●「まあ、30人も来たらいいよね、会長」とか言っちゃった。そしたら260人。(笑)「どうする」って。各班に分けて、学生バイトをちゃんと各ポイントに立ててね。

司会●ああ、すごい。

杉浦氏●あの岩倉の狭い道がいっぱいにありましたから、親で。

岸氏●そんな全然知らんわ。

杉浦氏●教育後援会主催で。保護者宛にいつてはまずですけど。

岸氏●いや、それはきているんでしょうね。これからちよつと気をつけて見ます。

杉浦氏●保護者の方も何か大学と関わりを持ちたいっていう方が結構多いんですよ。

立岡氏●教育後援会のOB会をつくってほしいという声が出てくるんだよね。

杉浦氏●自分たちもやりたいんですよ。子供達だけがそんな楽しそうなお仕事ばかりやってくるんじゃないかって悔しいから、親も何かやりたいっていう。

立岡氏●それを聞いた時に、「えー、何それ」と私思ったんですけど、同窓会の西日本支部で、精華パフォーマンスっていう、卒業生の作品を持ち寄るのを香川県は高松市でしたんですよ。その時に卒業して就職先が京都とか大阪、要するに地元高松ではないから、だけれども参加したいって言うてるんで家にある娘の作品を、親が、お父様が持ってきて、そのまま同窓会にも参加させてくださいって。本人じゃないの。(一同笑)お父様とご家族と。「ああ、そうですか。じゃあ、どうぞ一緒に」って言ってご一緒したんですよ。一人のお父さんはしゃべるわしゃべるわ、娘のことや自分のことや。だからそういう方がいらっしやるからOB会の話ができて不思議じゃないと思っったのね。ちゃんと名札まで胸に付けて「学籍・名前(代理)」ってね。

吉田氏●すごいやん。完全に混ぜてはるやん。

岸氏●そんなありがた。

司会●でも、そういうのを受け入れられるっていうの、いいんじゃないですか。心の広い大学やね。(笑)。

杉浦氏●それは、親御さんの中には、「かつて私も学生時代京都で過ごしたんですよ。でも本当は精華に入りたかった」っていう親が、今回自分の娘が入ってくれてすごくうれしい、学校に来れるから、みたいな。

司会●どれくらいの方ですか、それは。

杉浦氏●だから僕らと同世代の。ええ。

立岡氏●その頃なら精華に誰でも入れたんじゃない。

岸氏●ねえ。(一同笑)

杉浦氏●結構ええとこ行ってたみたいよ(笑)。

立岡氏●本当に？。親が反対したんだ。

司会●どこがそう魅力なんやろかね、だけども。

杉浦氏●何か楽しそうに見えたんだって、当時でも。精華って。

司会●自分達もこの大学を楽しんでたけれども、他校からもそんなふうに見られていたんだって聞くとおもしろいね。

町中にギャラリー欲しいですよ

岸氏●話はちよつと戻るかも知れませんが、今、大学に望むものに町中で発表する精華専属のギャラリー、もしくは美術館ぐらいつくったらいいんじゃないかな。年一回の卒業展だけでも。一般として行くのはね。あれだけじゃなくて、たとえば学生が安く借りれて、頻繁に発表できる町中のギャラリーが必要やと思うんですよ。

杉浦氏●あのギャラリーフールは。

岸氏●うん、あれ使えない。学生は使えへんや。だからそういうんで、うちの娘からの要望やっつけてね。そういう自由に使え、自由とは言わなくても。

立岡氏●空いている時は優先して入れてもらえんかね。

岸氏●いやだから、無名な学生展を親にわざわざあん田舎まで来るのは家族と友達くらいが関の山でしょう。展示してもまあないでしょう？。やはり町中の、たとえ地下鉄とかの沿線とかに、ギャラリーもしくは美術館ね。美術品も収集していいかなとね。

杉浦氏●教育後援会で寄付やるね。(一同笑)提案しましょうか？。もうあと1年しかないんで。

岸氏●僕はぜひそれをね、美術館をつくって。今情報館っていういいのできたでしょう。だからその次には、そういう本場の絵画とか彫刻とか、そういうものをちゃんと集めてね。それこそ卒業生の作品安くてもろて来て(笑)。

司会●せめて原価以上は払わんとかわいそう。でもそういうサービスも学生には有り難いものかも知れませんが。美術だけじゃなく人文のほうも近ごろそういう視覚的な発表をする人達もいますからね。私達の時代の英文科なんかそんな考えつかないたし。今の学生はパソコンとかでパッとやっつけてるでしょ。

井上氏●私は卒業してからスーパーのポツプを描いているんですけど、初め頃は筆でフリーハンドで職人さんの世界だったんですけど、今はパソコンに変わってしもって今年入社の子に職を脅かされています。でもきつとまた職人技が必要になる時代がやってくるって古株三人ほどで慰め合っています(笑)。

年齢を重ねた今思えること

司会●職人技と言うのか拘りをもった先生方が精華には多かったと私は思うんですけど。

杉浦氏●宮本学長

立岡氏●ロマン・ロランやね。「車輪の下」とかだね。

杉浦氏●お手紙もらったとか、文通してたとか言ってたんですけど、宮本さんが。

立岡氏●聞いてなかったよ。

杉浦氏●ロマン・ロランからの手紙。

立岡氏●うちの家に来られたんですよ。たぶん昔で言う教育委員会のはしりみたいなことをうちの親がしてたんじゃないか。何人か来られて、サイン入りご自分の本を置いていってくださったと言ってる。当時私、家に帰って聞いても、「ふん」てなもんじゃありませんか。何かしばらく本ありましたよ。最近まで。

それと、精華の30周年の時に岡本先生にお目にかかれて、ちっちゃくなられたのね。でもね、お召し物も古いんだけどもきちつと手入れのしたスーツで、しゃきつとされていて、もう何かそれだけでも感銘を受けたの。そして、ちょうど今年の1月ですが、岡本先生のお別れの会に行ってる人かのお別れの言葉を言ってくたさる来賓の皆さんの話を聞いてると、ああ、こんな偉大な方に学校で教えていただいた、こういう先生がいろんな理念をもって始めた学校に入れたってというのは、この歳になつたせいもあるんだけど、いたく感動をしたのを覚えています。普通ならこんな先生と学食でコーヒー飲んだり、対等にお話ができないような立場でも、大学っていうところはそれができる特殊な空間でしょ？、18歳の自分の50過ぎた自分とが違つて、先生も年をとられてるし、環境が違

うし。でも何かそういうふうなつながりは一生あるものならば、大事にしていきたいなって。若い頃は私も全然思わなかったよ。精華を卒業したよ、それが何、みたいな感じで。だから子供が入る入らないとかじゃなくて、卒業生として、親として、大学や先生方との関わりが一生継続くものならば、大事にしたいなって思っていますね。

岸氏●せっかく今日こんなんで二世がきてることがわかたんやし、親子の会でもやれば、結構いるんちゃう？

杉浦氏●いや、どうなんでしょう。その実態は。

司会●わからないんですよ。申告をしてくださった方や、先生と付き合いがある方はわかるんですけど。お母さんのほうが保護者だったら、姓が変わってる人がほとんどでしょう。旧姓まで書きませんから。親が精華出身者の場合、学費が何%安くなるのかだと全員申告するでしょうね。(笑)

岸氏●今ならまだ知れた数やと思うけど、もう5年たつたらえらい増えるんちゃうか。

司会●一期生はおじいちゃん、おばあちゃんですかね。

立岡氏●10年20年後に子供達が少なくなつて、大学として成り立たない時には、老人ホームとして「介護福祉センター・木野学園」とかに変われば、生き残る道はあるんじゃない。OB中心に、三世代目からは割引ありですよ。(笑)

司会●えらく未来像にまで話が来てしまいましたが、子供さんも精華に入っておられて、益々大学と関わりをもつて載って少しでも精華がよくなるように、また、いろんな人と関わりをもつていけるようになって行きたいと思えます。

子供達の座談会で、お父さん、お母さんの目を通して感じていた精華はどんなふうだったのか楽しみにして今日は終わりたいと思います。ありがとうございます。

子 CHILDREN

精華人に二世が誕生するなんて!!

司会●「精華人二世、二世」の二世の方の座談会を始めます。司会の菜鳥です。「精華人」の編集をしています。まずは自己紹介をお願いします。

吉田●吉田裕梨です。二年前、人文科を卒業し働いています。大学では、フィールドワークでアメリカへ行つた事が、もっとも影響があつてよい経験になりました。

杉浦●99S立休の杉浦宏太です。親父からい

い事、悪行高い事も色々聞かれました。来てしまったという感じです。

井上●20K環境の井上航太郎です。立岡君とはちよつとだけ話したことがあります。

立岡●えつ。あつ、お前。名前忘れたけど。(笑)エドが、びっくりした。

井上●エドピリアアというあだ名で、五月祭の実行委員会が一語になったことがあるんです。

司会●じゃあ、そのエドを忘れてた、あなたのお名前は。

立岡●今年人文一回生の立岡海人です。自己紹介して何。ちよつとわからんかった。(笑)

岸●99H版画の岸雪絵です。版画を勉強しています。精華をひきずる親を見て。

司会●じゃあ、本題に入ります。皆さんから見た親の姿はどうでしたか？精華を若手ひきずつておられる諸先輩方がかなりおられると思つたので、「考え方が他の親とちよつと違う」とか思つたことはないですか？

立岡●物心ついたらビートルズとフラメンコだったよな。精華に行つたからとちよつとじやなく、こつこついう人なんだなぐらい。精華は特に意識はしない。ちよつちやい時から毎年、

十二月になったらジョン・レノンが家中に置いてあつて…色々な遊び方や楽しみ方を教えられたから。わかる、なんとなく。

司会●なんとなくイメージはわかりますね。

立岡●学生生活をどう過ごさなさいじゃなく、自分で遊んでいきなさいみたいな。今どうしろこつこつじやなく。

井上●うちのおやじは経済大学出て、頭が堅いんですよ。考え方が。でも母のほうは自由な発想というか、僕から見て精華的やなつて思うよつこつはあります。

立岡●何で結婚したんでしょね。(一同笑い)

井上●会社が一語やつたから。そんな感じですか。

子どもは冷静に親を見ている

司会●杉浦君とは両親とも精華ということでしたよね。

杉浦●どつちも活発ですね。おやじのほつが何でもやれたがるた方で、何かほけたことやれば、つっこみられるのがおかんみたいな。

生の夫婦漫才みたいな、学生時代から精華の人って仲良くなるんかな。夫婦に見えないね。友達関係に見える。ドラマで見るようなあんな夫婦とか全然合わないんです。家族かな…

立岡●親父、ほけたおしとか。

杉浦●そう、そう。(笑い)ほけたおして、何かいい加減なことしてね。

井上●それは受け継がれてるの。

杉浦●どうやるのね。俺もまた俺で違つし。

司会●冷静に見てたりしてね。

吉田●一言で言うと精華大好きみたいな。精華大生であつたことにごう誇りを持っていてるという感じで…大学時代も楽しんでたし、違つていける学校。とにかくおかし

い言い方すると、姿である程度いいイメージ。何か微妙なんですけど。精華が大好きですね。

お父さんも精華人になりましよう…母より

司会●お父さんひきずられてませんか？よく精華に来られてますよね。

吉田●ひきずられるというか、精華に一度来るとまた来たくなるというか。

岸●父はデザインを出まして、他の科のほうに結構行つたとか聞きました。デザイン以外の先生方との付き合いがあり、私は小さすぎて覚えてないんですが、写真に「この先生今、精華のどつここの先生だ」とつて。精華大学という名前は、小さい頃から聞きなれた感じがします。

司会●お父さんが、毎朝送らされていると言つてくれましたが。(笑い)

父は精華に毎日来たいのよ……たぶん

岸●毎日じゃないですけど。

司会●学校に娘を送つて来るのがうれしいという印象を受けたんですがね。

なぜ、精華大学を選んだのか

司会●次は、大学に来たきつかけですね。なぜ精華を選んだのか。高校の先生の助言があったり、自分から行きたいとか。

立岡●精華一本。高校の先生はナンセンスな人達で、進学科だったから、「へー、精華」みたいな。いいとこ行かせたいみたいでせ。

同志社とか京大とか。でも精華だけで。他に

行きたい所なくつて。

司会●他には候補があがらなかった。

立岡●ないです。魅力的な所があつたんかな。

他を知らんから何とも言えない。一番自分の

中の大学のイメージに近かつたものがあるんじゃないかな。

司会●井上君はどうです。就職も決まっていたのにやめて精華に来たって結構サクセスストーリーのような話を伺ってなんですが。

井上●小さい頃から「精華、精華」って聞いていて、大学は「精華かな。」と思って。産業高校の電気科に就職すると先生も思っていたようで、「精華行きたい」と言ったら、「そんな訳わからん大学に入んな」と。「人文志望。まずまず訳わからん。何するんや。言ってみろ」と色々言われて、だから環境に變更して来ました。この学校の環境は技術を使って汚染を取り除くのでなく、人と人の話し合いで解決するみたいな。思っていたのと違う。いまいぢょうわからんけど。

司会●電気の仕事を知っているうえで環境を勉強するのも役に立ちそうですね感じがするんですがねえ。

杉浦●僕も精華一本。小学生の時に「自分の好きな物を作っていくのが幸せかな」なんて、小学生で「幸せ」とか嫌な小学生だったけど。中学の時には、精華に入る方法も考えて、先生の助言も当てにしていなかった。親父の話や聞くと、マニュアル通りの面接法では全然通用しないような気がして、親父の話を受けては受けたら見事通りでした。精華は普通と違うイメージですね。精華どつぶりの両親からは、授業で何をやってたとか聞かず、おとつこの悪行の話ばかり、山鳥の肉と偽り、そこいらでゲコゲコ鳴いてた蛙の肉を人に食わしたり、日本画の偉い先生からもらった二ワトリ食っちゃった話とか。(一同笑い)

司会●無茶苦茶やった。皆ええ加減で何でもあり…

岸●私は、小、中学から美大に行きたくて、京都で探そう。京都だと芸大が精華と選択肢を二つに決めてた。精華は父も行ったから、高校から入ったら楽かな。

吉田●同じ。(笑い)私も精華高校です。英語が好きなので、京都外大も考えたけれど、朝から晩まで英語だけではおもしろくないな。精華大の人文学部だと色々な授業が取れていいかな。幅広く学び好きな事を後から見つけてもいいかなと。

親から聞いていた精華のイメージとのギャップ

司会●吉田さんは卒業してから、自分の好きな事が出来ているようですね。では、「精華はおもしろい所」とか聞いていたと思うのですが、「違う」というような所があれば、いいところ悪いところ聞かず聞かせて下さい。

立岡●教授はおもしろいけど、授業がおもしろくない。

司会●たとえば具体的に。

立岡●親の世代は教授が若く、年も近くおもしろかったと思うけど、今は皆、おじさんや。高校の授業とあまり変われへんっていう印象。人文の授業内容は普通。特別におもしろい事やっているわけでもないし、もっと目茶滅茶おもしろいかなと思っていたのに、それは違ったな。

学長に直接かけ合おうかな

司会●先生も若かった。三十年もたてば皆歳

とるね。若者との年齢差はほとんどひらへかりやね。

立岡●まだ学長に文言言いにいくほどおもしろくないわけじゃない。

司会●(笑い)でもその一線が越えたら言いにいくと決心しているわけやね。とんとん学長にかけ合ってくださいよ。環境の方は新しい先生が多い？

井上●おもしろい人はいますが、基礎ゼミも普通の授業です。

立岡●環境もおもしろいって聞いた。(笑い)井上●先生によって、実習林とか行くとおもしろいけど、僕は教室で話し合いとかする感じ。

立岡●まだ話し合いにならないでしょう。

井上●ならへんな。皆あまりしゃべらへんから。

司会●おもしろくない先生、のりの悪い先生は、ちょっと遠慮してもらわないとね。(笑い)せつかく遠い所から来てんのにね。

若い先生が不足している

杉浦●立体も同じ。年齢問題はあるが、さらに立体は制作する時間がかかるので、徹夜とかしたいけれど、先生の体力が無く夜間作業が出来ない。

立岡●出来ないの今？

杉浦●(こっそり入ってる。(笑い)鍵を開けて。)

司会●一応今は十時までということになってるんですよ。

杉浦●祭り中、勝手に教室に忍び込んでたけど、夜間も出来るように、若い先生が一人ぐ

らしいですよ。

立岡●若い先生いるよね。絶対に。いたらおもしろい。

司会●特に立体は力仕事だしね。

密猟者がいる

杉浦●昔からいる先生のいいところは、夏休み中に皆で海に遊びに行くと、海に潜って魚やサザエを獲るのがすごくうまくて。野性み

司会●野性です。はい。彼は。よく知ってます。杉浦●サザエの密猟はいいのかな。立体以外に色々教わったりできて、先生がいらぬ訳じゃなく、いてほしいくらいですが、若い人ももう一人…。

岸●版画科は新しい科で、若い先生ばかりですが、ペテランの先生がいらないというか。歴史が浅いので、父から聞いた精華のイメージと違う。

司会●この科に関してはあまり精華臭さが無いかなあ。

吉田●母はテキストイルで、私は人文で全然イメージは違います。美術系はアットホームで、人文は人数も多くて大きな教室で講義を聞いているだけ。三回、四回生になってやると、先生の研究室で話ができ、仲良くなれるという感じ。母の話では、夜皆で残り、染色の染料入れる鍋とかでラーメンを作って食べたとか。楽しそうですが。

立岡●古きよき精華は単純に人が少ないから…。

司会●顔見知りの方が多いいやね。

立岡●それがいいと言われたんやな。

吉田●今だに仲良くして、木野祭に集まってる先生と仲良くして。同窓会、どんだけ仲いいねん。どんだけしゃべらんみたいや。私はそういう何十年後かに集まれるかなと思うと。

人文の先生に一言

司会●同窓会で新しくお友達になるからね。上と下がね。授業についての印象は、他の大学と比べると出て来ないですが、人文の先生方。生徒から辛い一言をもらいました。

A氏●人文の先生おもしろくないです。

司会●おもしろくないです。(笑い)そうですね。これは困ったですね。ふせておきましよう。(一同笑い)

A氏●授業を受ける時の姿勢ちゃう。勉強しようと思つたらおもしろい授業もおもしろい。あまりやる気がなかつたらおもしろい授業でも…

司会●うーん！そうですね。やはり君の姿勢やね。(笑い)先生は生徒がやる気を持っているのがわかると、がんばるし。学生が先生のやるのが大切。

A氏●そこまでのらないんで。授業に。

司会●いや、ぜひやってください。君なら出来る。問題は。改善してください。楽しい学生生活をおくれるように。

祭り大好き

立岡●祭りの話をしようか。

司会●そやね。井上君は木野の下宿にたどり



井上航太郎
201K



岸雪絵
99H



杉浦宏太
99S



立岡海人
201L



吉田絵梨
96L



司会: 菜富雅代
77D

着けなかったとか伺ったのですが。その「エ
」。

立岡●エビフリアア事件。入学後すぐやっ
け実行委員に勧誘されて、ボックスに連れて
いかれて。エビフリアアという名前がついて

井上●十日ぐらいたった。
司会●それはなぜ。

立岡●仲間意識を高めるために、あだ名をつ
けるじゃない。親近感もわかんない。

井上●「たぶんエビが嫌い」と言っ。(一
回笑い)「自我介绍の時に先輩が「今日からエ
ビフリアアだ」(笑)」

井上●「ゴージャって名前やっったけ。
立岡●俺は「ゴージャ」だったよ。(一
回笑い)「ゴージャは嫌って書いた」。

立岡●俺は海人だから、「沖縄」か。「ゴージャ
最初「ミミカ」とか言われてたからね。(笑)
「あぶね」と思った。

立岡●先輩が後輩にお酒を飲ますよね。エビ
フリアアつぶれたんですよ。たとえば顔に落
書きするとか、服脱がされるとか。たぶんは
何だ…

井上●もうその辺でええ。(一
回笑い)「ボックスで手足を縛られて、だったよ
ね。あまり覚えてないかな」。

井上●そんなもんやっった。
司会●エビフリアア記憶がなかったと思う
せよ。

立岡●「やめてください、やめてください」
とか言っ。それで脱がされて、ちよつと
ぐいね。あまり言いたくないな。

司会●「ゴージャは保険証がいる事件があったっ
て聞いてるけど」。

立岡●ああ。その言葉はあった。軽音とちよ
つ。

司会●ギター弾いてて保険証が何でいんのが

な不思議やね。
立岡●トラックから落ちたりしないよ。(笑)
司会●(笑)「らしい。それも記憶が途切れ
たわけだ」。

立岡●トラックから落ちてた事になってるり
しい。あまりよくわかんないんだけど。
司会●本人も知らない。なるほど。

立岡●軽く記憶がね。はっきり覚えてるんで
すか。
司会●杉浦君は、祭りに参加してますか。

杉浦●祭り、結構客として楽しんでる。二
回の時、サティヤンの代理にエントリーされ
て。

立岡●サティヤン。軽音の。サティヤンでや
ばいよ。
杉浦●ラビー部の方に蹴りが入り次の日に
肋骨折れていましたみたいなことあったけど。

立岡●祭りの。喧嘩だもんね。あれ。
司会●そこも保険証事件やね。岸さんは。

岸●一回は友達の手伝い、二回は立体的
先生のお手伝いをした。客として回ったのは
入学前かな。父に連れられて。

吉田●店を出した事は一回もない。一通り見
たら終わり。一回だけ友達の手伝って楽
しくて。だから卒業しても絶対来てしまっ
。(笑)

司会●(笑)「洗濯されてしまったのね」
吉田●五月祭、木野祭も来た。他校の学祭と
比べると全然楽しさが違っ。

昔も今も
精華人は祭り運うらひ

井上●実行委員としてつなの。あれは楽しい。
立岡●楽しいよ。当たり前。楽しみに決まっ
てんじゅん。

井上●皆熱いな。熱くないと、あんな祭りは
作れんやろうけど。楽しいから皆あんなだけ熱
くなれるし。

立岡●だって楽しそうだし。祭りがすす
て気持ちいいよ。来年からは何かすごい爽やか
な感じになるらしいよ。ポツン。

井上●やろうかな。ちよつと今、迷っとなの
やけど。
司会●授業の話ではないですが、積極的に動
くと楽しいもんでしょう。いろんなところに顔
を出して、そこから色々見出し出してほしい
いねん。

立岡●何かしたくて、表現したくて、伝え
たくなりたいわけだから、やばいな。
司会●皆には、DNAの中に「精華」ってこ
うマークが組み込まれているから…

立岡●血は流れているのかな。
司会●マークが血の中をシャーッと流れてる
。(笑)

立岡●やだやだ。気持ち悪い。生まれながら
に精華。
司会●親が精華の水を飲んでるから受け継が
れている。そこから生まれた子供やね、仕
方ないか。そういうことで、最後に大学に希
望、期待があれば聞かせて下さい。

杉浦●もっと各学部の人が仲良くなればい
いかな。
司会●どうしたらいいと思います。

杉浦●祭り。
司会●祭り。(笑)「年がら年中祭り。今の
人は「コミュニケーションをとるのが下手なの
ね。年の違う人と話したり、クラスの中でも
名前を知らないというのが、すごく不思議な
んですかね、私達には」。

立岡●精華入る前は、ちよつちよ学校やし、
コミュニケーションがすごくあっ。話さな
いでも名前知ってるみたいにしてたけど、
実際は全然わからんやつがいる。

井上●祭りと違っでも集まれる機会があっ
たらもっと楽しいと思っ。美術の友達とかおら
へんし。

司会●昔は自分の科以外に遊びに行っ、作
業したりしたけど。今はできないのかな。授
業とかで。人文科と美術科の枠がもう少し埋
まってるよ。もっとおもしろい事ができる
と思っけ。

立岡●人文内もね。ばらばらだと思っよ。行
動範囲限られてるでしよう。人文とか。
杉浦●結構。大概会えるのは祭りなんでね
やばい。(笑)「祭り大好き」。

司会●そこへ戻るわけやね。
杉浦●祭りのいいね。やはり。
吉田●学校にいつでも戻っこれるような勇
気を保ってほしいって希望があります。

小さい希望
岸●実習室の机が増えたらいいのとか、す
ごく小さな希望なんです。

杉浦●立体は編入生の子が、「精華の設備、
道具が全然ない」らしく、広い作業場が欲し
いですね。
井上●人文科にも、皆が集まれる室があれば
いいな。美術科の工房とか羨ましいですよ。
卒業しても祭りに参加
馬鹿だねと思いたい
司会●皆にとっ卒業しても頻繁に来れる大
学であるかな？
立岡●たまに来て祭りが盛り上がりたれば
OK。
杉浦●来る時は祭りにって感じかな。
立岡●「まだ祭りで馬鹿やっつてんな」って思
えたらいい。祭りがおとなしかったら、さみ
しいもたね。
司会●下火にならないように、今現在いる人
達が次にその祭りのやっっていく過程を教え
ていかなければ続かないね。祭りは楽しいと
いうのを仕込んでいかなく。

立岡●「コミュニケーションが大事やねん」
何の集まりですか？
司会●「精華人」の取材で、全然年が違っ五
十一二十才代の初めて合った人達も、すぐに
仲良くなります。お店の仲間さんも「何の集
まりですか。おっちゃんから姉ちゃんまで
色々おられて」と尋ねられる事があります。
すごくめずらしい集団に見れます。精華人
て不思議な集団なんじゃないか。

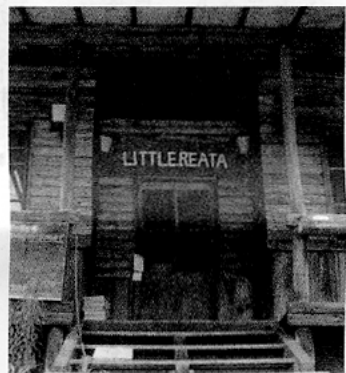
精華人は卒業生だけでなく、
父母も巻き込むほど魅力的な
精華パワーの集団だ
父母会も四年間で終わらじやなく、今度は父
母会の同窓会が出来るという奇妙なことが起
こりそうなんです。精華って何なんだ。

お言葉いただきました
吉田●ひびきに精華の人達と話が出来て、
すごく新鮮で、うれしかったです。
岸●自分から積極的に制作も祭りに参加して
いけば、もっと楽しい学生生活がおくれるの
で、あと一年がんばりたいと思います。
杉浦●すごくいい感じな所なんです。何かや
りがいっっていうのが必ずあるから色々やっ
てみたい。前向きな事だけじゃなく、遊
びたいの。後ろ向きとはいえないけど、や
ってみますかっていう感じですよ。

立岡●自分でやりたいって思った事をやり続
けるだけだね。素直に自分だ。
井上●何にでも参加して、楽しい学生生活に
します。
司会●何事もやってみなきゃ。凶と出るか吉
と出るかわからないけれど、やらずにうっ
じするよりはいいかも知れないね。
今日はおりがたうございまして。

精華がまだ短大だった頃、木野は京都のはじつこの田舎でした。1975年にカントリー&ウエスタン調店構えの喫茶店「リトルレアータ」誕生は、多くの学生から拍手で迎えられました。それから26年。多くの精華人がお茶をし、沢山の話をして壁やテーブルに落書きを刻み、思いでも刻みました。しかし、時代の流れでしょうか、昨年末リトルレアータはひっそりと閉店し

ました。現在、跡地は精華大学が買い取り、将来は新しいレアータのような市民と学生が共に利用できるレストランを計画中だそうです。今回、レアータの思い出をメールにて募集したところ、沢山の感想をいただきました。ここにいくつか紹介いたします。みなさんも一度レアータを思い出してみてください。



74 デザイン 津下勝年 (岡山)

リトルレアータが出来たのは、たしか私が2回生の頃だったと思います。学食しかウダウダできる場所が無かったので、感激しました。リトルレアータによって、私の考えていた大学生活にやっと近づきました。絵を習っていた先生から「デザインを勉強するなら大都市に行かないとダメだ！」と言われ、大都市京都に来たつもりだったのですが、来てみて愕然！

92 人文 文田吉律 (東京)

私の入学当時は、毎日バイトに明け暮れ、夜は飲み歩きという学生身分に甘え切ったバブルの日々を過ごしていました。そんな折、最初のテストの時期がやって

きました。勿論、悦楽の日々を満喫していた私は、数カ月が過ぎていくというのに何の講義を取っていたかも解らず、校舎の名前すら解らない状態でした。

さすがに、テスト対策をしなければ！やはり同じ状況の友人とバイトも休んでテスト対策で徹夜が続きました。友人達にコピーさせて貰った数も凄いや量になり、湯水のように使っていたお金は底を尽き、残金が2000円になってしまいました。

前日もお金が無かったので食事を抜いていたので「死ぬ」と思い、友人から借金しようと考えて徹夜明けでレアータに誘いました。

席に着くなり「お金を貸して欲しい」と言うと「俺もお前に借りる予定だったんや」慌てて二人の残金を合計すると380円！今なら半牛を食べられるが。

しかたなく、御飯1つと餃子を1人前注文して二人で分けて食べようとしたら、女の店員さんが「唐揚げと豚酢と餃子と大盛りライス」を持ってくるではありませんか！

77 P 井本直樹 (東京)

「ラグビーの練習が終わったらたまに」なんていっても金を持っていないから、のどきたくても学食のうどんが主食なのでした。たまに先輩の山本さんがピラフヤコーヒーをごちそうしてくれるので、しょうもない人生の相談にのってもらってました。77年の入学なのでスペースインベーター

がおおはやりでした。

お店のテーブルもゲーム機になっていて惜しげもなく百円を投入する友人を驚異の目で眺めておりました。レアータには、バニーマニロウのコパカパーナが流れておりました。

84 D 明松 聡 (東京)

「お帰りリトルレアータ？」

私はデザイン科の学生なのによく洋画の校舎を訪れた。エレベーターで上がって3つ目のドアをドキドキしながら開ける。すると男達が「また来たか！」というような目線で私を睨みつけるのだ。しかし、彼女はいい。

今日こそ「好きです。」の一言を言おうとドキドキしながら来ているのに彼女はいい。ある友人から彼女はよくレアータに夕飯を食べに行っているという情報を聞き、それならそこに誘いだし、あの一言を言おうと思った。

またまた私は洋画の部屋に行った。ドアを開けた途端、男達から「チュッ」と舌打ちされながらも彼女のそばに行きながらレアータに誘い出した。結果、その時は緊張し夕飯はおこったもののやはり言葉がなかった。

それから数日が過ぎ、お互いに卒業式を迎えた。式後に今度こそはと思い、レアータに予約を入れに行ったら精華大のあるサークルがすでに貸し切りで使っていた。あれから何年経ったのだろう。いつかきつとレアータで「好きです。付きあってください。」の一言を言おうと思っていたのに跡形もなくなつたと聞いて非常に残念である。でもその土地ごと精華大学が買うという噂を聞いて私はこう願う。教職員の皆様、ぜひ昔のレアータに復元

し、当時のマスター夫妻を呼んで舞台をこしらえてほしい。

1日だけでもいい。レアータオープンを期待し、その彼女を呼んで今まで言えなかった一言を言いたい。「結婚おめでとう！」

96 P 濱谷珠枝 (東京)

学生当時、バイトをしていたとき、あるお客さんに私が精華の学生だと話した。すると、真っ先に「近くに中華料理屋さんあるやろ。あそこ安くてうまいし、量多いんよなあ」と言った。

リトルレアータの事だった。はじめは「あんなへんびなところのお店なんて知ってるんやろ」と思ったが、なんとなく自分の「家族」がほめられていた。レアータが無くなったと聞いて、こんな事を思い出して少し寂しい気持ちになった。

76 P 山村典子 (神戸)

「リトルレアータの思い出」リトルレアータが潰れたとはショックでした。卒業してからは遠のいてしまつたけど、記憶の中ではいつも健在でした。夜になると暗い木野で、オレンジ色の光がぼかっと浮かび上がりましたよ。いつも「レアータいこか？」って誘い合ってた。レアータじゃなくレアータ・ね。木の机や壁や、友人たちの話し声が懐かしいです。いつでも行けると思っているうちになくなつてしまつたのはホントに残念。でもいつまでも忘れません。

『私の東京物語-仕事にまつわるいろいろなお話』

新聞を賑わす大変な出来事が起こっても毎日の暮らしで一番大事なものは家族だったり友達だったり、ご飯だったり、仕事だったりするのです。今年もきびしい大失業時代だったり、大不況だったりもします。

あの人は今頃どうしてるのかな、とか生きてるのかなとか思い出したり、年賀状が来てうれしかったり。かわりばえのしない生活にうんざりしたり、実はとてもありがたかったり。そんなあなたに話して欲しい物語、今回の「江戸の瓦版」特集は「私の東京物語」です。あのもちろん「東京～」というのはゴロだけで千葉でも埼玉でもいいんですけど



VIVA! 東京ライフ

今から4年前、精華を出てから5年後のこと、生まれ育った家を出て一人東京にやってきました。

大学4年生。バブルがはじけた年でした。波にのまれて就職活動しませんでした。内定もなかったところまで。働く気にはなりません。

結局卒業してから見つけた、とある製菓会社の京都支店でMR (Medical Representative) として働きました。ま、平たく言うとう製菓会社の営業です。

地道に働いて、適当な年齢で結婚退職・出産を思っていたら、会社が次々と合併。

合併に伴って営業職から内勤になったはいものの、それが苦痛でたまりませんでした。

転職しようか、当時付き合っていた彼からの結婚の話にしろ、なんて考えていた時にタイミングよく東京本社がIT部門が社内募集。

引越し代、敷金・礼金はもちろん家賃11万までの8割は会社もち、この条件で東京で一人暮らしできるのは、このチャンスを見逃したらもうやってこない、と確信しました。

筆記・面接を経て無事に配属が決まりましたが、それまで親に黙っていたんですけど、説得するのに少々時間がかかりました。

2年お付き合っていた彼には別れを告げ、いよいよ我が東京ライフは世田谷に居を構えてのスタートとなりました。

27歳にしてはじめての一人暮らし。電気のかさはどんなのにするとか、カーテンの色とか一人で、えせ新婚気分でした。

転属しすぐにたたくさんの仕事に覆い被さってききましたが、忙しい時ほどよく遊ぶのです。

でふらりと立ち寄った飲み屋「月がた」というお店、エビスビールの看板がなければはつきり言うて何の店なのか外観からはよくわかりませんが、その後いろいろのな人に会うことになる空間でした。

店のオーナーは40代前半の元業界人で古い好き。

そこへ集まってくる華もマッサージ師から放送作家、写真家、劇団員、アーティスト、そこそこの歌手までいろいろでした。

まー、ほとんどが一人で来てますし、いろいろな種類の人間が集まりますから客は全員友達でした。

時には「今日は客が少ないよねえ。来てえ。来て来てえ。」と電話がかかってくる。

頼まれたら断りきれない性質なので、ついつい行ってしまう、その店を出会った響太という沖縄のお酒に飲まされてしまうことしばしば。

長くその店に通っている、オーナーのおっさん含め、客同士の恋模様が見えてきてまるで「あいのり」ならぬ「あい酒」といったところでしょうか。

さ、これ一杯飲んだら帰ろっかな、と思つて飲んでると必ず「これはサービスです」と言いながらもう一杯でくれるのです。

こんなことをしていて儲かっているのかしらという心配は的中しました。それから一年が経ちました。

めずらしく仕事が早く終わった金曜の夜(といつても20時はすぎているだろう)か、ポケットに手をつっこむと3万円と少しある。

それを確かめると僕は、新大坂行きの新幹線に飛び乗った。1978年、東京に出てきて間もない頃のことである。東京は丸の内、

広告代理店の博報堂。東京駅からすぐのその場所、僕はグラフィックデザイナーの修業を始めていた。その日の予定はすらすらとみなければわからない毎日。

夜が明けてからの帰宅もめずらしくなかった。

師匠であり仕事の陣頭指揮をとるアートディレクターが気まぐれで、その彼に事実上人生を握られていた。そんな状況だったから金曜20時の終業にはその上なく解放感があった。新幹線に向かった先は京都。

僕を突き動かしたのは大学時代の仲間たちそして、今だから言えるけど気持ち悪くさせていたあの人。この間まであんな

に近かった仲間たちと、今はこんなに遠くになってしまった。とにかく距離を埋めないと気持ち悪く離れてしまふのではないかと思つた。若かった。

それから何十回にも及ぶ週末の「京都帰宅」が始まった。いつ帰っても話は尽きなかった。一番キラキラしていた頃に戻れた。あれから僕も結婚

し子供が出来た。生活の拠点もすっかり東京となり、自分の事務所もつくった。新幹線に飛び乗るようなマネはさすがにしくなつたけれど、その代わりにこのカフェバー「トラックス」に来るようになった。

第一ホテル東京の2階にある緑路沿いで、カウンターの席からは目の高さには新幹

今日も、ひとり新幹線の見えるバーで。

線の手窓が見える。あの日僕を京都へ連れていった下りの新幹線は、眺めるだけ昨日や少しだけ遅い日へも連れてってくれるようになった。

一方で上りは未

来。東京に出てきたあの日を鮮明に呼び覚まし、僕に希望を抱かせる。これからの季節、東京駅へ向けて減速する新幹線の車窓にあの日の僕のような若者が見える。そして密かにエールを送る。仲間はどこにも行かないよ。彼らはずっと君の中にいてくれるよ、と。

ベアベアに酔っぱらって盛り上がる「木野会」の面々にもやせしい安喜さん

この大阪市の推薦でイギリスへ派遣作家として渡

美しくしかも若い安喜さん、作品の世界がどう展開していくのが世界の期待がかかっています。

この後大阪市の推薦でイギリスへ派遣作家として渡

この大阪市の推薦でイギリスへ派遣作家として渡

この大阪市の推薦でイギリスへ派遣作家として渡

この大阪市の推薦でイギリスへ派遣作家として渡

東京貧乏生活ムイビエン

東京にやって来て15年全くのなりゆきで(バンドで)やってきたものの2年目ではやくも行き詰まり、バイト情報雑誌を頼る始末。世はバブルを迎え、賑やかなネコでも手伝え!といつたむちゃくちゃな風が吹いておりました。何も経験がないのに美術大学を出たからというただで、デザイン事務所のイラストレーターに潜り込んで仕事もせずに給料が上がって行くという考えられない待遇で勤めておりました。そして8年間の前線、ある会社の不正経理が明るみに出て、一枚かんでいた我が社は税務局の査察の結果敷金なく倒産。ほんとよい事は続きません。けどバブル期にも長年みついた貧乏性で掛けきれずアパートに粗食生活があったおかげでまわりの人がたばたば倒れていく中毎日楽しく7799 イモトナオキ

新進気鋭の洋画家、安喜万佐子さんの企画展に行ってきました。

安喜さんの企画展が銀座ギャラリー「手」で開かれました。夕方から夜明けにかけて広がる闇とそこに明滅する光を網羅に留めた記憶から解き放つたような作品といえはいいのでしょうか。懐かしいようなちょっと不安げな子供頃のことが思い出されて、なんだか裸になったような気分。20畳程の簡素な画廊が作品の柔らかな光に包まれ、大学でやって来た「木野会」の面々は、すっかりリラックスして持参のワインに酔っぱらう始末、癒しの効果も。以前は自然が作り出す光と闇を多く描いておられた安喜さん、今回は人工の光が描かれておりました。

この後大阪市の推薦でイギリスへ派遣作家として渡

2001年、日本で初めての国際展「横浜トリエンナーレ」が開催されました。この現代美術展に巨大なドレスのオブジェを出展して注目を集めた塩田千春さんはドイツ在住の精華人。会場のホールの天井に取り付けられた20メートルを越すその作品は、臭く汚く水の滴る大変なものだったらしいです。しかも3層。

EDO NO KAWARABAN

江戸の風情

5 木野会東京支部事務局 〒270-1145 我孫子市高野山226-2
山倉研志方「木野会東京支部」Tel&Fax 04-7185-5454 e-mail (工事中)

今回の東京支部の特集は と東京五月祭です。



第3回東京五月祭が2001年5月に開かれました

話を超えつとびますが、私が参加した卒業式では「卒業生代表の言葉」みたいなものがありました。その卒業生代表である女性のスピーチが今も心に残っています。

私も今この彼女一筋です、浮気心なんてめっそもありません。ですから彼女に密告し知らせる必要はないです。私の知り合いの方は読まなかった事にして下さい。

話戻って、東京五月祭はどうだったかといえますと、当たり前ですが会ったこともないような人がたくさんいましたね。

私も今この彼女一筋です、浮気心なんてめっそもありません。ですから彼女に密告し知らせる必要はないです。私の知り合いの方は読まなかった事にして下さい。

東京五月祭ってものがね、毎年関東圏で開催されているんですよ。お知らせと説明書とかそういう類のものは昔から一切読まない性格なもので、まったく気づきませんでした。

「東京五月祭で突っ込みを・・・」SABOSO 山崎祥司



第三回の東京五月祭は代々木公園でピクニック形式で開催されました。



→二次会は渋谷のお店で

特に関東方面に来る人

今年はこの感じで行いますので、新卒の人は全員参加してね

新社会人歓迎

東京駅発丸の内南口出発 (13:00) → 銀座 → 東京タワー → 浅草 → 代々木公園 (16:00) パーティー (以上のコースは予定です) 雨の場合は渋谷で二次会

東京バス観光ツアーという名の

移動式五月祭下車後 代々木公園で 教授陣も乱入予定 夕暮れのピクニック

『第4回東京五月祭』

2002年
5月11日
(土曜日)

●参加希望者は問い合わせ先に連絡下さい。新社会人と会ってみたい先輩社会人も同時に募集(小学生以下は無料)ご連絡お待ちしております。在校生・始めて知った人も参加OK、新社会人扱いになってます。

会費：新社会人 1,000円
その他 2,000円
問い合わせ (臨時) 木野会東京支部事務局 山倉研志 04-7185-5454
kinokai-tokyo@jcom.home.ne.jp

〆切は4月20日

東京五月祭は関東方面に就職した新しい卒業生とすでにこちらで働いている精華大学出身者の懇親と親睦が目的の大学同窓会の定例行事です。様々な仕事をしている先輩が来ます。マスコミ関係、運送関係、デザイナー、編集者、自営業、大企業など、東京のくわしい情報も聞けます。今年で4回目になります。毎回違う形式で行われていますが今年は東京都内を観光しながら席替えしたりして同窓会の顔見知りがたくさん来て、バスを降りた後は代々木公園で夕暮れのピクニックをしてという企画です。

経済が破綻しテロが横行する現代に於いて一番頼りになるのは人間関係だし友運です。皆さんの機会に是非参加して、こちらの精華の知り合いを増やして下さい。在学中は話したこともないような人とすごく仲良くなったりすることもよくある事です、彼氏みつけた人もいたみたいだし。特にまだ仕事が決まっていない人や、一緒に仕事をする人を探してる人はぜひ参加して欲しいです。ここ何回かは求人もありました。無職だからって気にしないで下さい人生長いし支部長だって無職みたいなんなので。それではよろしく願います。



↑仲良し空手二人組



おやつは500円以内

←前回ゲスト参加の滝本さんと楽器奏者です。

木野会東京支部からの おしらせ

人事
●新しい評議委員
横田久美恵
山崎祥司

東京支部ではあらゆる情報を受け付けています。あんまりえげつないのは載せられませんがメール及びお手紙お待ちしております。なにか同窓会の仕事が出来たいという人もぜひ、会報のデザインをしてみたいという人も経費出ます。

木野会西日本支部
情報コーナー

KINO WEST

キノウエスト

2002

西日本支部事務局
〒709-0626 岡山中尾4-7-2
(株)岡山城東広告内 津下勝年方
「木野会西日本支部」
E-mail tsuge@oka.urban.ne.jp
Tel 086-297-9601
Fax 086-297-2399

編集/デザイン:95Dカイヤカ

SEIKKAパフォーマンス2001 in 高松
まずはこの方に語っていただきましょう。
香川県分会長 富明雄氏。拍手！

黒幕の支部長と香川県分会長



四国にも500名の卒業生があるでえー。の言葉に高松での開催が決定したのが20世紀最後の西日本支部役員忘年会の席でした。まずは会場探しからと画廊を見て回るが今ひとつ物足りない。良しとしたプラザは抽選に外れ残念。讃岐の奥座敷、塩江温泉での案に津下支部長人で温泉に入りに行くがバスで二時間は遠すぎた。帰りのバスにも乗り遅れ役員たちは待ちぼうけ。

ある日、県内情報誌を見ていてアジア・テイストの雑誌屋「Nara」オープンの記事が目にとまり訪問。サンポート高松という駅周辺か

ら海沿いに歩いて10分。古びた昭和初期の倉庫群の中に精華らしい発表の場を発見しました。偶然にも私の美容関係の知人がそのオーナーと知り合いで話が進み、10月6・7・8日で開催日も決定。準備にとりかかりました。倉庫の中の作品展は珍しく新聞にも取り上げられ、日本画、洋画、写真、立体等、ユニークな卒業生の発表会となりました。

人文の一期生、高松在住の田中夫妻です。中四国には人文卒業生はいないのでしょか？参加するたび、人文2人なので少々さみしいです。
89L 田中広伸・未知



仲よし卒業生夫婦

瀬戸内の海をバックに木野会の集い。懐かしい皆様とお会いできてとても楽しい1日をありがとうございました。



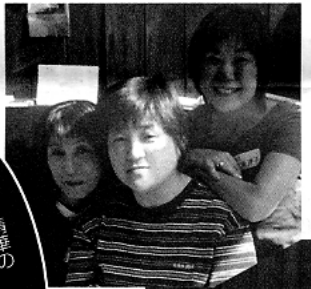
親子参加で～ス

久しぶりになつかしい「精華の学生生活」を思い出しました。当時、何も無い畑道を通学した事、遅くまで制作に費やしたあの時間、何もかも懐かしい事です。次の再会を期待して・・・
71T 藤川春子(旧姓 松平)



今日は久しぶりに学生気分タイムスリッして楽しんで帰ろうと思っています。四国に来て同窓会に出席出来て嬉しく思っています。
71E 林りよ子(旧姓 広瀬)

初めて参加させていただきましたが学生時代に戻ったような楽しさで皆さん、力作ぞろいで大変、刺激になりました。ありがとうございました。また何か企画があったらぜひ誘ってください。
76D 角南恵子



復活！精華のスリー・クレーンズやで！



精華の同窓会は、年代を越えて楽しい集いです。徳島県の皆さんもぜひ参加してみてください。来年「阿波踊り」精華連も発足予定です!!
78D 原田明子

コンピラフネフネ♪ オイテニホカケテシユラシユシユ

今回同窓会に参加させてもらい、いろんな科のいろんな方達のお話が聞けてとても楽しい時間が過ごせました。これからも皆様のご活躍をお祈りします！
91U 寺岡由紀



SEIKKAパフォーマンス2001 in 高松
時は10月6・7・8日。所は四国・高松。
海沿い倉庫群にて秋晴れのもと賑々しく開催！

精華を卒業してから気が付くともうこんなに年数がたっているのですねえ。まだまだこれからも写真を撮ってほしいと思います。

85D 秋山誉夫

やばい…。と焦った時にはもうパフォーマンスまで1ヶ月。時間と戦いながらの制作でした。自分の為の制作は、納得するように足して削って…。自分に素直になる為の作業だと最近思います。高松の倉庫で皆さんの作品と並べたら、また新たな刺激を受けて、もう次ぎの作品事を考え始めていました。でもきつと、次もの作品もぎりぎりに作るんだと思っけ。

95D 甲斐さやか

なぜか、卒業後等今日ガラス研究所へ行き、現在吹きガラスの作家活動を川崎市で行っています。

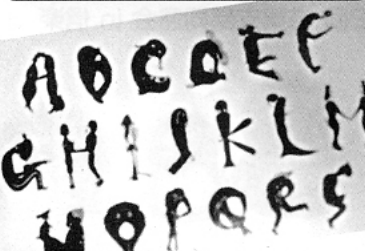
88H 和泉香織
代理 父 四郎



お父さんの参加もあり！
また来てくださいね。

これからも自分の心に正直な作品を作っていきたいです。

97J 大嶋さやか



やっぱり、作品作りはやめられない！ これって本能？

久々の作品制作。絵を描く事は、私にとって良い事なのだけど、絵を描くテンションに持っていくのが最近困難。今回の作品制作はハードスケジュールのため私はとにかくお疲れ…。せっかく頑張ったのだから、観る人に良い影響を与えられたいいなあ、と思ったり…。

95D 高野晃

嬉し、恥ずかし初めての精華パフォーマンス出品に舞い上がってしまいました。見て欲しいような欲しくないような…。

75E 半田めぐみ

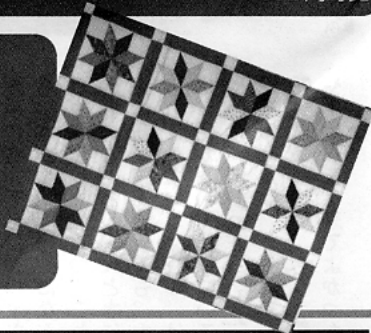
楽しいSEIKAパフォーマンスに誘ってくださってありがとうございました。

73T 中田祐子



今回は2回目の参加です。今回は友人と「出品」出来て良かった！今日は天気もいいし、瀬戸大橋から見て来た景色も最高でした。新しい出会いもあり、楽しい精華パフォーマンスになりそうです。

76D 橋本恵利



緊急告知 SEIKAパフォーマンス 2002



阿波踊り・ 作品展覧会 参加者大募集！

今年のパフォーマンスもはじけマッセ！
SEIKAパフォーマンス2002は

① 四国・徳島の阿波踊りで ボディーパーフォーマンス

精華卒業生・在学生・教職員ならだれでも参加可能。皆で阿呆になろう。

参加日：2002年8月13日前後の1日
正式に「精華連」として参加登録をし、当日は揃いのTシャツ・うちわ・提灯・精華根性(?)を持って踊り狂います。

② 作品展覧会も開催予定

今年は広島県福山市で72T馬屋原さんが経営するギャラリー「スペースSOUL」にて9月3日～8日開催予定です。

詳細お問合せ・参加申込みは
西日本支部事務局(下記)まで。

〒709-0626 岡山市中尾4-7-2
(株)岡山城東広告内 津下勝年
Tel 086-297-9601/Fax 086-297-2399
E-mail tsuge@oka.urban.ne.jp

GO

恒例！忘年会を12.3決行。 真面目に2002年を企む！の巻

一年をしめくくる精華木野会西日本支部、反省会&忘年会。食卓には尾頭付の小鯛と赤飯。我々の今年一年の活躍と今後を祝しての事か？いやいやこれは前日御誕生した内親王を祝してのオーナーの心配りでした。10月のSEIKAパフォーマンス2001と同窓会。何度も足を運び選んだ精華人らしいギャブリースペー、潮風を感じるオープンテラスでの久しぶりの顔合わせ、心暖まる集いでした。欲をいえばもう少し作品数と参加者を集めたかった。

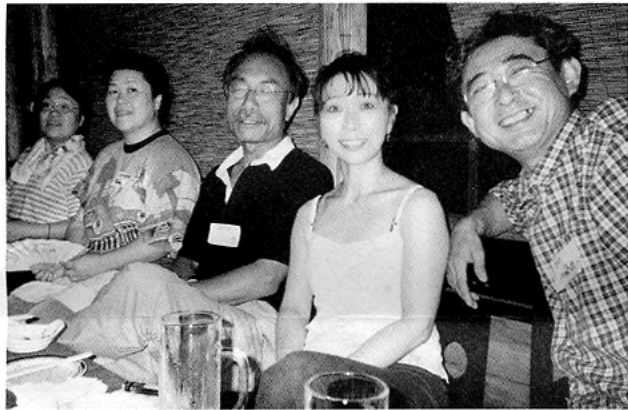
さて、お祝の膳に箸を進めながら今後の活動について話は盛り上がり…。次のパフォーマンスは徳島へ「阿波踊り」の連を作りくり出す事に決まりました。中四国の会員はもちろん、京都からの参加者とも合流し精華の意気を見せましょう。へ踊るアホウ



71T 藤川春子(旧姓 松平)

しか支部だより

第2回 滋賀支部同窓会 in 信楽



信楽へよう来てくれたなあ。ワシ、信楽に住んでるタヌキや。いつもは、店の前に立って店番してるけど、木野会の同窓会があると聞いてなあ、ついていったんや。火まつりの日やから、毎年暑いのはあたりまえやけどなあ、あの日は特別暑かった。毎日ワシ、立ってるだけやからあんまり暑いとおもわへんし、信楽は山の中でいつも涼しい風があるしなあ。暑い最中に焼肉やて、ますます暑いかな。そやけど、生ビールはうまかった。何べんもカンバイしてしもた。ひとり来るたんび、カンバイ！またひとり来てカンバイ！なんぼでも飲めるがな。子供さんやらダンナさんやらみんなつれてきてくれて、ワシ、うれしかったわ。こんな同窓会どこにもないで、だれかが云うてた。精華を卒業したというだけのつながりやから、あんた、どっかていっしょやった？あの教授の単位もらえた？知らんなあ。私、入学した時あの校舎まできてへんかったから。へえ、そんな話初耳や。卒業して長いことなるけど、いままで知らなかったわ。聞いてるワシも、つい笑うてしもた。精華で、そんなおもしろいとこやったん。

何や、あれは！すだれ巻いてかついでる。特注の太いのやら子供に小さいのやら、両手にもって、目立つヤツもいる。ワシも一本かついて行列にならんた。重いカラダに重たいまっつ、これで参道を登るのかいな。わし、火と水には、強いから火の粉が飛んできても、ホースで水かけられてもだいじょうぶ。けれど、タヌキは、足が短い。皆についていくのが大変や。参道の途中で見上げた星空と、信楽の夜景は、きれいやった。でっかい花火もあがって、もう、最高にええ気分や！ほんま、来てよかった。店の前で立



さて、お腹もいっぱいになったことやし、次は、火まつりにいこうか。たいまつかついで愛宕神社の火の神さんに奉納するんや。信楽の町中の人がスタツフになって、火まつりを応援してますねん。ワシ、祭大好きやから、ついていくことにしたんや。たいまつ火の粉が飛んできて、やけどせんように、タオル頭にまいて、首にもタオルまいて、両手に軍手はめて、いったい何人？信楽人に決まってる。



ってるだけでは、アカン。ほんまにきてよかったわ。キレイなおねえさんに記念のペンダント、首にかけてもらえるし。またビールがでてきた。今回、何回目のカンバイや。酒もでてきた。一晩飲み明かすのかな。みんなつよいなあ。あした、だいじょうぶかないな。陶芸教室あるのにおみやげも買わんといかん。次は、どこで同窓会するのかなあ。ワシも行ってエエか。精華人て、おもしろい人ばかりやしなあ。これっきりなんて、いわんといや。ワシ、いややで。信楽にも、また来てや。待ってるで！

滋賀支部 1200名の皆さん
ご協力ください

まもなくアンケート用紙が届きます。多くの人々のご意見を参考にして、今後の活動をしていきたいと考えております。ご協力お願いします。

北井和歌子
〒520-2134 大津市瀬田1-17-13
TEL 077-545-0028

連絡先



滋賀支部の本音

☆今度は、琵琶湖で、船上バーベキューしたいです。琵琶湖のおさかなは、とてもおいしいです。ぜひ、あなたも参加してみたいかがですか。

☆同窓会って聞いただけで年寄りが集まって学生時代（若かりし頃）の思い出話、自慢大会って思ってたんですが、滋賀支部は、チョット（だぶん）違ってました。滋賀県に住んでいて初めて陶器まつり。楽しかったヨ。

でも次は、もっと、若い人（特に独身の方）が多く参加していただけることを楽しみに待っています。

☆木野会滋賀支部が発足して初めてのイベントを信楽陶器祭に合わせ企画。ところが、参加者を募集するのに1200通の案内状を出して、返事が返ってきたのはたったの数通。オイ！滋賀県在住の精華の卒業生ども、おまえら、たいくつな日々に変化をもとめようと思わんのか！滋賀支部の理事、評議員のホトケ心がわからんのか。案内状の紙、地球の資源をムダにしてエエとおもてんのか。次の同窓会には、ぜったい来いよ。

☆滋賀支部の役員会は楽しいよ。あんたも役員におなり！

木野会東海地区情報



第1回 東海地区同窓会 2001.9.9

9月9日を精華大学東海地区同窓会の日と決めたのは、かつて「10・10」が精華であったから、こはやっぱり、やや控えめに「9・9」としたのでは……無い。

当日が精華大学東海地区教育後援会の開催日とあって、多くの教職員がここ名古屋に集結するとあって、この日しかやる日は無いと決断したのであった。

まずは組織を作らねば……と言うことになり、精華からもらい受けた名簿でランダムに直電話交渉となる。幸い名簿には、豊橋に住む「谷本」という女性が「協力可」とあったので、さっそく電話にてお願いをすると、快諾であった。

この後が大変であった。なにせ開学30年を過ぎてからの同窓会の開催である。もう学校とは疎遠な気分では生活している人たちの寝耳に水を差し入れるような案配であったのだ。同窓会役員って、どちらか言うと面倒なものである。出欠を問う案内状の作成やら会場の設定やら……やって得をすることなんぞあんまりない。とは言いつつも有言実行などと、実に嘘臭いコトバを自分で言い聞かせつつ前に進むのであった。

だがしかし、やってみると面白い事に気がついた。やはり同じガッコの出身者であることが作用するのか、なか呼吸のリズムに共有するモノがある。そんなこんなで7名の協力者を得ることが出来た。

なかには中国からの留学生で、そのまま名古屋に住んでいる卒業生「張可」さんもいた。

そして第一回目の顔合わせとなる。実に活きのイイ若手（永井くん）もいて、なにかとても良い予感がした。さらには、私のひとつ先輩にあたるしっかりしたトキヨさん（72丁）も参加してくれた。そして大先輩にあたる大林さんの協力もあり、安定感のあるチームが生まれたのである。

で、出席者への案内状の発送となる、約550名もの卒業生を愛知・三重・岐阜が抱えているのだ。これで何名の参加者が得られるのゾクゾクするものであった。結果は22名!!。こんなものかと納得をして当日を迎えるのである。

教職員及び



同窓会役員そして卒業生の総勢48名。その数は少ないが、小規模で在るが故、実に中身の濃い宴席になったと思う。出席者の方には、精華の黎明期の大学案内を持参してくださった事も大いに、話題が膨れあがったのであった。これには感謝である。時間が経つにつれ会場には、いろいろな輪が出来ていった。

それぞれの思いを語っているようであった。そして出席していただいた方には、永井君が個々にインタビューをして、ナマの声を皆さまにお聞きいただくと書いた展開に、出席者の全員参加といった同窓会になったと思うのですが、いかがだったでしょうか。



ただ、今回の同窓会において最悪の失態であります。同窓会に付き物の

最悪の失態!!
同窓会に付き物の「集合写真」を撮り忘れました。



「集合写真」を撮り忘れた事であります。まことに持ってオオボケをやってしまいました。ですから、次回同窓会には、必ずまたご参加願います。その時に改めて集合写真を撮りましょう。

次回の同窓会も企画進行中です。お手伝い出来る方、また情報やお便りお待ちしております。

連絡先：杉浦章介（73S）
〒446-0036 愛知県安城市小堤町12-21
Tel 0566-77-0907
E-mail: showsuke@katch.ne.jp

ここには集合写真が入る予定でした

木野会台湾支部が結成



2001年10月、台湾支部を設立することができました。これは、精華大学同窓会本部の推進と応援のおかげであると感謝致します。

台湾の精華留学生たちは卒業後、台湾だけでなく、フランス、ニュージーランド、ソウル、上海など世界各地で活躍しています。

この日は、台湾支部設立のために、皆が台北に集まって楽しい同窓会を開き、ひさしぶりに精華大学、学生時代の思い出話に花を咲かせました。

これからは、台湾留学生によるお互いの交流活動に留まらず、各国からの留学生、全ての卒業生、また学校とも強いつながりを築くことを目標として、頑張っていきたいと思えます。

2002年2月 台湾支部 黄茂良 (92XU)

連絡先：黄茂良

台湾高雄市大順一路93号5F-4 華範建築事務所

Tel:886-7-5573301

Fax:886-7-5573143

e-mail: whaa@whaa.com.tw



同窓会韓国支部のニュースです

Some news regarding the Seoul section of our alumni association:

We are planning to hold our next reunion meeting on April 20.

Among other things we will also discuss issues relating to the departure of Mr. Ki Jo Kim, the current head of our section.

Mr. Kim is preparing to go to Japan for further studies.

As far as the vice-head of our section, myself, is concerned, I have just recently started my own

restaurant business and have opened the first restaurant in Seoul (about 300 sqm).

That is also where our alumni meeting will take place next month.

4月20日に会議を開く予定です。

議題の中では、特に現在の韓国支部長の金琪祚氏が、日本に再度留学するため、韓国をしばらく離れる案件について話し合う予定です。会長は現在、日本留学の準備中です。

副会長の私に関しましては、最近レストランの経営に乗り出しまして、300平方メートルの第一号店をソウルにオープン致しました。

4月の会議は、そこで行うことになっています。

韓国支部副会長 金大鶴 (83D)

金大鶴氏のレストラン

Restaurant "Eu-Gi Yang Yang"

Nonhyun-Dong 201-4(Insung Bldg.) Kangnam-ku, Seoul, Korea

Tel:+82-2-3443-7330

十一月三日総会前の海外支部長顔合せの会

FROM KINOKAI



第14回 木野会総会報告

京都精華大学同窓会「木野会」理事 宮城明和 (77E)

第十四回総会は2001年11月3日に京都精華大学本館三階会議室で行われました。議長には評議員から澤田貴夫氏(69D)を選出。最初に新谷一男専務理事(70P)が2001年度の活動報告と2002年度の活動計画を発表し、次に谷真美子副会長(69E)が2001年度の決算会計報告と2002年度の予算計画を説明し、続いて新谷専務理事が2002年度の役員・評議員の顔ぶれを伝えました。さらに支部報告として、井本直樹東京支部長(77P)より来年5月予定の東京五月祭の予告、甲斐さやか評議員(96D)より10月に高松にて開催される西日本支部主催の「SEIKAKAパフォーマンス2001」と四国地区同窓会、北井和歌子滋賀支部長(73D)より7月の滋賀支部同窓会、杉浦章介東海支部長(73S)より九月の東海支部設立同窓会といった支部行事の予定と結果報告がなされた後、今回は韓国支部より金琪祚会長(82XD)、金大鶴副会長(83D)、そして10月に設立されたばかりの台湾支部から黄茂良会長(92XU)、羅震洋氏(92D)が来られてそれぞれ挨拶されました。こうしたすべての議案に会場からの異議はなく満場一致で可決され、最後に入江完会長(68P)が今年度の方針として、大阪支部の設立並びに各地域で同窓生が集まり懇親を深めるために各支部を充実してゆくことや、大学および教育後援会、留学生との交流や関係のもち方などを今後引き続いて模索し十分討議して進めたいと述べ、無事閉会となりました。総会終了後は例年同様、明窓館横の常設テントにてささやかな懇親会をもちました。晴れの特別日としては珍しく、木野会の総会としては1988年の設立以来初めてまとまった肌寒い雨が降る中での開催でしたが、同窓生のみならず在学生や教職員の方々も多数駆けつける盛況で、辺りが暗くなっても宴は熱気で心暖かく和やかに続きました。



数珠つなぎ

■精華大学同窓生、職員を交えて、数珠つなぎで紹介して頂いています■

- 88 J 林 直子(旧姓相原)
- 88 E 野村 久子(旧姓岡本久)
- 88 E 黒田 妙子(旧姓塩見)
- 88 E 高橋 洋子(旧姓山形)
- 69 D 平尾 律子(旧姓新池)
- 69 D 森下 美(旧姓吉岡)
- 69 T 福田 妙子(旧姓北河)
- 69 T 牧田 通子(旧姓辻)
- 69 T 小井 真理子(旧姓保母)
- 69 E 小井 ふみ子(旧姓依田)
- 69 E 松下 惠子(旧姓寺尾)
- 69 E 久留島 光子(旧姓玉江)
- 70 P 臼井 真利子(旧姓中村)
- 71 P 村岡 顕美
- 82 S 高倉 哲法
- 71 P 森田 洋子(旧姓人見ひろ子)
- 86 P 高橋 雅史
- 86 P 米田 和秀
- 87 P 築山 佳民
- 87 P 堤 武士
- 87 P 小椋 和明
- 85 D 後藤 智子(旧姓黒川)
- 85 D 福田 絵麻(旧姓藤井)
- 85 D 藤原 恵津子(旧姓西田)
- 85 J 日浦 美穂
- 85 J 山中 麻由美(旧姓山中)
- 86 T 山岸 大晃
- 84 S 黒田 悟一
- 84 S 和知 篤司
- 82 M 光藤 佐
- 82 M 田中 今子(旧姓佐藤)
- 83 P 深井 郁子
- 81 Z 山口 裕之
- 82 J 山口 里香(旧姓寺村)
- 81 D 川人 祥弘
- 81 Z 村尾 すなほ
- 81 Z 谷口 年三
- 89 J 田畑 稔
- 89 J 高戸 涼子
- 88 J 釣 井明
- 87 C 高田 典行
- 87 C 14 中井 和仁
- 88 J 16 中井 公子
- 86 S 19 西村 成生
- 77 S 高橋 克明
- 77 S 浅井 直美(旧姓清水)
- 79 XZ 44 岡山 智子(旧姓高橋)
- 74 D 増田 祐三
- 74 D 吉村 弘之
- 74 D 野村 宗男
- 74 D 140 渡辺 均
- 74 D 60 阪 七裕
- 74 P 70 山羽 敦子
- 74 P 54 野中 美智子(旧姓広瀬)
- 74 T 23 網 美恵
- 74 T 42 佐藤 節子(旧姓横田)
- 74 T 藤本 睦子(旧姓山内)
- 72 T 34 吉田 真弓(旧姓三ツ柳)
- 72 T 39 阿部 和子(旧姓吉川)
- 72 T 5 加藤 由美子(旧姓石橋)
- 72 T 墨 豊紀代(旧姓石原)
- 72 T 原田 剛朗
- 79 Z 80 宮水 健次
- 79 Z 100 渡辺 美智雄
- 76 D 70 上原 宏子(旧姓高井)
- 75 D 35 木曾 健司
- 79 D 10 大江 有紀子
- 90 L 191 村上 雅樹
- 94 L 409 結城 大介
- 95 L 湯田 直樹
- 95 L 206 永井 聖人
- 86 P 50 渡部 崇徳
- 89 H 19 渡部 真理子(旧姓西村)
- 89 H 21 廣田 多世
- 87 H 17 大政 優子(旧姓南)
- 88 T 4 高井 利江子(旧姓石原)
- 88 T 37 宮地 隆幸



① 88 T 20 近森知代(旧姓 武山)
●岡山県岡山市在住
●主婦
主婦をしながら、細々と制作を続けています。近所のヒトに「私がある名になったらね、主人にフェラーリを買ってあげるんでしょ」と話すと必ず「夢があるってすばらしいですね」と返ってきます。...やっぱ夢ですかね。

② 88 C 近藤あかね
●京都市左京区在住
昨年古い一軒家を借りてアトリエを持ちました。良く言えば町家！悪く言えば廃家？。不便な点もたくさんありますが「ヤル気」でなんとかカバールしています。

③ 90 X C 1 中森知恵(旧姓 宮島)
●東京都日野市在住
●陶芸家フリエター

④ 88 U 佐藤朱美(旧姓 今川)
●大津市在住
子供が1人、猫は2匹、大学は3つめ...本年度になつて始まった精華の非常勤講師が4つめの仕事となりました。現在、京都大学大学院の博士課程に在学中で、環境地球工学を専攻しています。子供のためにも、未来の地球が元気であつてほしいと願っています。

⑤ 81 S 11 外磯秀紹
●滋賀県信楽町でものづくり業
好きな時に起きて寝る生活が長くなりました。そしてこの状態で年を重ねていけばいつしか「亀仙人」の名を頂くことなんでしょうか。3/18から3/30まで大阪、淀屋橋の「北浜画廊」で個展をしております。ぜひお立ち寄り下さい。

⑥ 84 S 伊藤隆蔵
大学卒業後も、芸術の道に進もうと考えていたのですが、なぜか今は不動産業に従事しています。作家活動を続けている皆さんをうらやましく思うところがあります。

⑦ 84 S 20 村下泰清
●播州赤穂在住
●入瀬産業(株)勤務
会社員のかたわら家具作りを15年続けています。カナダ産の松を使いじっくり時間をかけて自宅用の家具を作っています。グループ展は年一回、昨年(13年)は秋に倉敷「アヘー」においていろいろな御えんをいただきました。それでは私を木道にさそいこんだ石田純之様にバトンタッチ。

⑧ 84 S 1 石田純之
●京都府北桑田郡美山町
●木の仕事
12年前に美山町に工房を設け、無垢の木を使った味わいのある家具を一点一点デザイン制作しています。

⑨ 82 P 52 渡辺裕之
●横浜市青葉区在住
生まれも育ちも京都、転勤し渋谷勤務となり、東急田園都市線のラッシュに耐え、そろそろ4年になろうとしています。正直いって学生時代の事をすっかり忘れていました。東京五月祭も知りませんでした。また卒業生での集まりで騒ぎたいものです。

⑩ 82 J 6 半井映子(旧姓 大西)
●京都市右京区在住
主婦&イラストレーター
主つけは卒業して約15年が経っていました。現在は、主婦業の傍らイラストを描いたり印刷物のデザインをしたり...精華で培った精神?の基、楽しくをモットーに生活していますが、最近1年があまりにも速く過ぎるので少々恐怖を感じています。

⑪ 82 J 8 定井珠女(旧姓 末田)
●大阪府東大阪市在住
●アトリエWOMB(ウーム)
仕事と作品作りと主婦と忙しい毎日です。大阪谷町六丁目に築百年の町家で「小さなギャラリー」も始めました。大阪で活動している精華の友人、先輩も集まって、気持ちだけ歳とらず、ワイワイやっています。

⑫ 82 P 9 北原洋子(旧姓 太田)
●石川県七尾市在住
●美術館学芸員
能登のお寺に嫁いで早や9年、育児(2人)に奮闘しつつ、展覧会の借用等で忙しく全国を走り回っています。海の幸は美味しいけど、この寒さには一慣れそつくないわ。

WELL COME 精華人

木野会報「精華人」は卒業式に合わせて発行されています。これによって新同窓生の住所登録のお願い、東京五月祭の案内、木野会総会の報告や会計報告を速やかにお知らせしています。

【新人「精華人」は卒業後の住所登録をお忘れなく】
精華大学同窓会会報誌「精華人」(旧 木野会報)は、毎年一回会員(93年度生以降全入学生入会済み)のみに配布されています。
新同窓生の皆さんには卒業式当日、他の書類と共に手渡されます。
これは、半数近い人の住所録が最終学年の下宿の住所になっているため新たに住所登録を求めためでもあります。実家に戻られる方、転居される方、変更されない方すべて登録し直してください。登録されないと「不明」になることがあるので注意してください。移動が予想される場合、実家の住所も登録してください。

木野会から

【精華人の「わ」広げましょう】

各地域で、もっと最近の大学の様子が知りたいといった意見を伺います。「精華人」ではそういった意見を取り上げ、会報誌の充実を計って行きたいと思っています。また、一人でも多くの方が木野会に参加されることを望んでいます。「精華人」の届いていない、未入会のお友達を是非お誘いください。

【入会は簡単】

郵便局備え付けの振り込み用紙に学籍番号(入学年度、学部、学科)住所、氏名(旧姓)電話番号、E-mail, を記入の上、終身会費1万円を振り込みください。
口座番号: 京都0-42332
金額: ¥10,000
京都精華大学同窓会 木野会 宛

【ご投稿のお願い】

- 木野会会報「精華人」にふさわしい新コーナーのアイデアを募集しています。
- Who's Who 誰が何処で何してる?あなたの近くに精華人はいる。コーナーへの投稿、取材依頼、お待ちしております。
- 展覧会、個展、イベント等の広報コーナー充実の為、情報をお寄せください。
- Teachers Voice どんな先生に登場して欲しいかご意見お待ちしております。
- This is My Space 美味しいお店ですか? どんなもの扱ってるのですか? テッサン教えて! 英会話教えて! 精華人が営むそんなお店・教室を紹介しします。

【お願い】

卒業生宛の郵便物が転居・住所表示変更等の為返送されてくる場合がかなりあり、多くの卒業生が消息不明になっています。お友達の中で「木野通信」や木野会に入会しているのに「精華人」が届いていないという方がおられるようでしたら、必ず同窓会「木野会」事務局まで、その方の氏名、学籍番号、住所をご一報ください。
また、お問い合わせ等がございましたら、ご遠慮無く「木野会」事務局までご連絡ください。

懸賞作品募集

【表紙デザイン・文中カット大募集】

木野会会報誌では誌面に使用する作品を広く募集しています。表紙面を思い切りあなたの絵・デザイン・写真で飾ってください。
また文中で使えるカット画もお気軽にお寄せください。大胆な作品をお待ちしています。

●賞金・賞品

表紙デザイン1点…3万円

文中 使用カット1点に付…プリペイドカード

●応募方法

サイズ:縦18cm×横18cmの中で
技法:イラスト画、写真、版画など自由。ただし色は一色刷です。
カット画:自由に描いてください。
作品の裏には必ず作品のタイトル・コメント・住所・氏名・学籍番号・電話番号を記入してください。

●締め切り 平成15年1月15日必着

●宛て先

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
京都精華大学同窓会木野会「会報 表紙デザイン」係

●表紙制作者

井本直樹 77P9
大学を卒業して二十二年学生時代はクソガキで随分むかしの事のような気がしても、夜中に布団の中でその頃の情けない自分を思い出して穴に入りたいたい程はずかしい時があります。

総会のご案内

【第15回 木野会総会】

と き: 2002年11月3日(日・祝)
と ころ: 京都精華大学

木野会では毎年「木野祭」開催最終日に総会を開いています。会の企画・運営、会計報告などを会員の方々に報告し意見を伺う場としています。また、総会後は学生気分、同窓会ブースで一息いれて、在学生達の模擬店・フリーマーケットに入り込んで楽しみましょう。
詳しくは追って通知致します。